



プレスリリース

一般社団法人 日本原子力学会

2011年3月11日に発生した東日本大震災において、多くの方々が犠牲となられ、また被災されましたことについて心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力の広範囲にわたる**学術・技術専門家集団**として**社会への情報提供を行う**ため、本会の主要な活動等について、随時プレスリリースを行っています。

今回は、**東京電力福島第一原子力発電所事故の技術分析に関するシンポジウム開催**のお知らせです。

シンポジウム開催のご案内

「東京電力福島第一原子力発電所事故の技術分析に関する 日本原子力学会と米国原子力学会の見解」

政府の事故調査委員会の中間報告や原子力安全・保安院の「東京電力福島第一原子力発電所事故の技術的知見(中間とりまとめ)」など、種々の事故調査が公開され、事故直後に比べて多くの技術的知見が得られてきた。米国においても米国原子力学会(ANS: American Nuclear Society)が事故調査委員会を設置し、近々報告書を発表する予定といわれている。そこでANS事故調査委員会の中心的人物の一人であるアイダホ大学のTokuhiko教授に来日願い、ANSの技術的分析を発表して戴き、日本原子力学会「原子力安全」調査専門委員会技術分析分科会における技術分析と比較検討し、意見交換を行う。

なお、発表、質疑、およびパネルディスカッションは原則として通訳はなしで英語で行いますので、あらかじめご承知おきください。

日時： 2012年3月4日(日)13:00～17:00

会場： 東京大学工学部 武田先端知ホール http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_16_j.html

主催： 日本原子力学会「原子力安全」調査専門委員会技術分析分科会

共催： ANS事故調査委員会

プログラム (Tentative) :

13:00-13:10 Welcome AESJ President Professor Satoru Tanaka(University of Tokyo)

13:10-14:10 Summaries of ANS Report Professor Akira Tokuhiko (University of Idaho)

14:10-15:10 AESJ's View

Overview, SBO (Station Black Out) and Earthquake

Professor Koji Okamoto (University of Tokyo)

ULHS (Ultimate Loss of Heat Sink)

Professor Hisashi Ninokata (Tokyo Institute of Technology)

15:30-16:50 Panel Discussion on Lessons Learned

16:50-17:00 Closing AESJ President Professor Satoru Tanaka(University of Tokyo)

使用言語：英語

本シンポジウムの取材申込みについて

3月1日(木)までに <http://www.aesj.or.jp/symposium/form.shtml> にてお申込みください。

本件に関する取材等お問合せ先

日本原子力学会事務局 技術分析分科会担当 TEL : 03-3508-1261 / E-mail : QandA_gb@aesj.or.jp